

放射線科

技師長 関根 聡

展望と診療実績

我々、放射線科は総勢59名（放射線診断科医3名・血管内治療医1名、放射線腫瘍科医3名、診療放射線技師47名、クラーク5名）にて構成されており、検査・治療・読影診断（非常勤放射線科医、遠隔画像診断）を行っております。業務は院内のみに留まらず、湘南鎌倉人工関節センター、湘南かまくらクリニック、湘南葉山デイケアクリニックとの業務も担当しています。外来、救急、入院患者数の増加、それに伴う検査、放射線治療件数は増加し続けていますが、患者安全を最優先に考え、“断らない医療”を実践しています。

2015年の代表的な出来事として、4月に外傷整形外科専用地下手術室稼働開始、9月に1階中央放射線部内CTの更新、10月にはJoint Commission International（以下JCI）国際版病院機能評価の更新審査、11月にはジブチ共和国からの診療放射線技師研修生を1名受け入れ（1か月）研修を行ないました。

4月の外傷整形外科専用手術室は術中撮影を始め、術中透視、術後撮影を行なう為、術中イメージ装置3台、ポータブル撮影装置1台、CRシステム1式を配置し、患者様の安心安全に貢献しています。

9月に行なわれた1階中央放射線部内のCT更新は、8列マルチスライスCT装置を80列マルチスライスCT装置の入れ替えを行ないました。この狙いは午前中から昼過ぎに起こる慢性的な混雑を改善する目的と最新CT装置を導入する事で患者利益に繋げる事を目的に行いました。これにより以前より待ち時間の短縮を図ることができました。

10月に行なわれたJoint Commission International（国際版病院機能評価）の更新審査がありました。放射線使用に関する診断、治療に対し、患者、職員、環境への安全を担保する為、放射線部門は患者評価部門Assessment Of Patient（以下AOP）に属し、大分類

で9項目、判定基準は44項目となります。またその他に感染や個人のスキル、病院施設としての基準、廃棄物処理等の項目が加わります。また、今回特に力を入れた事は“PDCAサイクルに基づく改善”です。放射線科では緊急・至急検査の結果報告時間の遵守率をテーマに上げ、“結果報告時間”に着目しました。結果報告時間の調査を行ない、遵守出来なかった場合の問題点を考察し、改善策を導き出し実行する。そして再評価。結果報告時間の遵守率の向上を行なう事が出来ました。

11月にはかねてから徳洲会で行われている海外への医療支援の一環として、ジブチ共和国より診療放射線技師の研修受け入れを行ないました。研修生からは“被ばく管理の教育が母国では十分浸透できておらず、特にそこを学びたい”との事でしたので日本での法令や被ばく防護、管理について重点的に研修を行ないました。また、検診バス業務にも同行し、ジブチには全くないシステムだと興味を持っていました。今後もこのような機会があれば、受け入れを行なっていきます。

また、スキルアップに関しては、診療放射線技師の認定資格取得者数も年々増加しており、汎用性を兼ね備えた専門性を目指し、日々努力をしております結果も付いてきています。

『生命だけは平等だ！』を理念に掲げ、特に当院の特徴である“断らない医療”の診断の基になる検査、また治療を行なう為、日夜業務に当たっています。

検査数の増加に伴い、緊急検査への対応や検査待ち日数の減少の為、MRI装置の増設、CT装置・血管造影装置の更新を行ない、患者様に快適に検査治療をお受けいただく為、整備を進めて参ります。

そして、地域病診連携を今まで以上に充実させ、開業医の先生方にも当院の放射線機器を利用させていただき、少しでも地域のお役に立てる放射線科を目

指していきたいと考えております。

“すべては患者様の為に”を合言葉に、検査・治療に來られた患者様全てに“来てよかった”と気持ち良くお帰りいただけるよう今後も放射線科職員一同一丸となり、業務に当たって参ります。

今後も放射線科は、“For The Patient！”“すべては患者さんの為に！”をポリシーとし努力して参ります。

主な2015年施行件数

単純撮影	102,646件／年 (8,554件／月)
CT	52,217件／年 (4,351件／月)
MRI	15,163件／年 (1,264件／月)
血管造影	6,204件／年 (517件／月)
核医学検査	1,244件／年 (104件／月)
放射線治療	7,939件／年 (662件／月)

学術発表

院外発表

1. 清水：TAVIスクリーニングCTの解析手法について。TOSHIBA user会，2015，3.
2. 成田：Angio装置での腎動脈撮影の至的角度的検討。南関東地区画像研究会，2015，5.
3. 石田：脳出血の4D-CTを使用した出血量の予測に対する検討。大磯脳卒中セミナー，2015，7.
4. 清水：TAVI留置前後の角度的検討。日本心血管インターベンション学会，2015，7.
5. 浅田：肝臓のMRIについて。鎌倉技師会定期研究会，2015，7.
6. 濱野：非造影CTによる3D画像が有用だった一例。横須賀湘南IVR研究会，2015，7.
7. 清水・最新治療TAVIについて，鎌倉技師会定

期研究会，2015，9.

8. 清水：脳出血症例の4D-CTを使用した出血量予測に関する探索的研究。日本放射線技術学会，2015，10.
9. 清水：the estimation of brain hemorrhage volume by using 4D-CT. 徳洲会全国学術集会，2015，11.
10. 卯月：脳梗塞緊急治療前CT-Perfusion検査画像提出時間短縮の試み。日本脳神経血管内治療学会，2015，11.
11. 清水：脳出血の4D-CTを使用した出血量の予測に対する検討。日本脳神経血管内治療学会，2015，11.

院外講演

1. 伏見：心臓領域の診断。千葉IVR技術セミナー，2015，6.

院内講習

1. 関根：放射線管理区域従事者研修（看護部1月／8月／9月）
2. 関根：院内職場体験（総務課4月／7月／10月）
3. 伏見：心電図（IVR認定用院内勉強会7月）
4. 伏見：心筋梗塞時の血液データ（カテ室内勉強会8月）
5. 伏見：カテ室内で用いる薬品について（カテ室内勉強会11月）
6. 伏見：線量測定をするにあたって（IVR認定用院内勉強会12月）

公開医学講座

1. 関根：知って得する放射線検査～放射線でお役にたてること～.
2. 関根：放射線で肺がんはどう見えるの？
3. 関根：肺がん検診本当にこれでいいの？～早期発見の為の肺がん検診について～
4. 長谷川：認知症早期発見について～核医学検査

(RI)でわかること～.

5. 清水：最新CT登場！この凄さ体感してください
～320列マルチスライスCT～.
6. 千葉：MRIってどんな検査？～新設3T(テスラ)
MRIのご紹介～.
7. 山下部：最新鋭放射線治療装置トモセラピー～
がん治療最先端～.